

# 保護者会連合会だより

平成24年3月7日 No. 2

今年度もいよいよ年度末、寒かった冬も少しづつ暖くなり、一步一步春が近づいてきます。

さて、今年度も保護者会連合会の行事を無事終えることができました。「子どもたちの最善の利益」を目的として今年度の活動をしてまいりました活動の報告をさせていただきます。

一年を振り返って

益田市保育研究会保護者会連合会  
会長 平川英美（遠田保育園）

益田市保育研究会保護者会連合会の役員の皆様、各保育園の園長、所長、先生、事務局、並びに益田市29の保育園（所）の保護者の皆様には、この1年間本当に何もわからない私にご指導ならびにご協力を頂きながら支えて下さいました事を心よりお礼申し上げます。

また、市議会議員の選挙では、本会並びに保護者会から推薦を頂き当選された、豊川保育園園長の河野利文市議会議員への多大なるご支援、ご協力誠にありがとうございました。

本年度は私の子どもがお世話になっております遠田保育園の保護者会長と本会の会長との兼務ということでしたので、色々と不安もございましたが、引き受けたからには役員全員が子どもの育つための良い環境を作ること、皆が何事も話し合える役員づくりを目指していこうと思い、役員会の後で飲食しながらの反省会を行いました。

一人ひとりの気持ちや考えを直接聞く事が出来たおかげで、保護者の方々へのアンケートを実施し（581の回答）、福原益田市長へ要望書の提出を致しました。

保護者の皆様から頂いた意見を基に、本会主催で研究会や益田保健所所長様、益田日赤病院副院長様、益田市福祉環境部次長様、島根医大医学部教授様、益田の医療を守る市民の会様に「地域医療を考える」講演をして頂き、市民公開セミナー「産科医療の現状を知る。」を行うことも出来ました。益田市以外の地域からもたくさんのご参加を頂き、地域医療の大切さを実感致しました。

本年一番の大きな事業でもありました、「親子対象事業」では、限られた予算の中で、いかに親子が楽しい時間を過ごせる催しができるかを役員全員で何度も話し合った結果、「鈴木翼とロケットクレヨンファミリーコンサート」を実施することが出来ました。

グラントワ大ホールでの公演ということで準備や入場者が心配でしたが、役員の皆様や各保育園の皆様に、ご尽力を頂き無事に開演することが出来ました。

大きなホールの中で、親子が楽しく、歌ったり踊ったり姿をみていて多くの方々にご尽力を頂き開演できたという感謝と安心感、親子の本当に楽しそうな様子に感動し、目頭が熱くなりました。

私は今年63歳になります。5歳児の父、ならびに6人の孫の祖父でございます。子どもが成長していく中で、自分の子育てと最近の各ご家庭での子育てが違うのではないかと不安もありましたが、この1年間、若い世代の方々とは接し、子育てに対し自信を頂く事も出来ました。本当にありがとうございました。

次世代育成協議会委員としての役目が6月まででございますが、今後も他の園の保護者の方々と交流する機会があれば、次の世代を担う子どもたちの健やかな成長のために「よりよい保育環境」「子どもの育つよい環境」づくりを話し合っていければと思っております。

皆様方に満足して頂いた1年であったかと不安も残りますが、今後も保育研究会と保護者会連合会が手を取り合い、関係機関との連携も含め、子どもたちのためになる多くの活動を行って頂けるように願っております。

最後に1年間、皆様のおかげで若さとたくさんの笑顔を頂いたこと、有意義な時間を頂き心より感謝しております。本当にありがとうございました。  
文書にてお礼の言葉と代えさせていただきます。

## 要望書提出

平成23年10月26日

益田市保育研究会保護者会連合会

会長 平川英美

今年度も益田市内認可保育所の保護者を対象にアンケート調査を実施し581件の回答を頂きました。益田市保育研究会及び保護者会連合会ではこのアンケート結果を集計、下記のように生の声をまとめ、益田市へ要望書として提出いたしました。

## 要望趣旨

益田市におかれましては、かねてより保育行政に鋭意努力され、子ども達と私たち保護者に対しまして格別のご配慮を頂き、深く感謝申し上げます。

本市におきましても数年来の景気情勢の悪化から、保育所を利用する家庭の割合は増加しています。しかし多くの保護者は不安定な就労状況の中におり、将来に対する大きな不安を抱えた家庭が年々増加しています。そのような中で、平成24年度の保育料の算定においては、平成23年度の税制改革に伴う扶養控除の廃止により負担増となる世帯が多くなることはすでに明らかであり、毎月の過程所得への影響の大きさを懸念する保護者の声も多く聞かれます。

また、今年8月から益田赤十字病院における分娩制限も始まり、この圏域でお産ができなくなるのではないかと、益田圏域の周産期医療に対する不安も広がっています。

子どもは地域に活力を与え、未来の益田市を担う存在です。益田市次世代育成支援計画の基本理念として謳われる「家庭と職場と地域、社会全体で子育ての喜びを分かち合える益田。生まれた喜び、愛される幸せの実感を、次の世代につなげる益田。」を実現するために、一過性の対策ではなく継続的なご支援をお願いいたします。

## 要望事項

### 一 益田市認可保育所保育料負担金額等の軽減

- ・平成23年税制改革による扶養控除廃止に伴い予想される負担増に対し、激変緩和措置として例年以上の保育料軽減をお願いします。
- ・基準額表の階層区分の細分化をお願いします。

### 二 安心して産み育てることのできる医療体制の確保

- ・誰もが安心して妊娠・出産・子育てができるよう、医療体制の確保をお願いします。

### 三 安心して仕事と子育てができる社会環境の整備

- ・安心して仕事と子育てを両立できるよう、差別や偏見のない労働環境となるよう事業所等への積極的な啓発活動をお願いします。

### 四 公共施設の整備・充実

- ・通学路の整備や学校施設の環境整備老朽化への対応をお願いします。
- ・公共施設への授乳室・子ども用トイレの整備をお願いします。



平成23年10月26日  
益田市保育研究会保護者会連合会  
会長 平川 英美

## 要望回答書

平成 23 年 11 月 24 日

益田市長 福原 慎太郎  
(子育て支援課)

子育て支援につきましては、市長就任以来一貫して「子育てと教育はこの益田で」と言い続けています。3月に策定した総合振興計画の中でも、重要施策の一つとして、子育て支援の充実を挙げています。引き続き次世代育成支援計画の基本理念である「男性も女性も家庭も職場も地域も社会みんなで子育ての喜びを分かち合いそして生まれた喜び、愛される幸せの実感を、次の世代につなげる」の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

平成 23 年度税制改革（年少扶養控除の廃止等）による影響を遮断する方策を検討します。

基準額表階層区分の細分化については、引き続き検討します。

最重要課題として、地域医療対策室を中心に、さまざまな施策に取り組んでいます。

日赤では、依然として分娩取扱い件数の制限など、厳しい状況が続いていますが、引き続き、市民の皆様と力を合わせ、医療体制の確保に取り組むとともに、医師が住みたいと思う益田をめざします。

労働環境につきましては、産業支援センターとも連携し、雇用推進協議会、商工会議所等の協力も得ながら啓発を進めます。

通学路の整備につきましては具体的に危険な個所があれば早急に対応してまいります。国道、県道についても必要な整備を要望します。

学校は児童生徒が多く時間を過ごす学習・生活の場であり、学校施設の環境整備につきましては、大変重要な課題であると認識しています。

学校施設の環境整備・老朽化への対応につきましては、耐震診断結果による学校施設耐震化事業及び小中学校再編実施計画の進捗状況との整合性を図りながら益田市立小中学校施設整備、5 年計画を策定し、きびしい財政状況下ではありますが、子どもたちの安全・安心な教育環境の整備に向けて計画的に実施します。

都市公園のトイレにつきましては 21 年度に 4 カ所の簡易水洗化と 1 カ所の水洗化を実施しました。

22 年度には 6 カ所のトイレのバリアフリー化を実施し、車椅子利用者のためのスロープ等を設置しました。また、ベビーシートやベビーチェアを設置するなど、多目的トイレとしての機能を整備しました。

今後も公共施設の整備にあたりましては、子育ての視点を持った対応をします。

保護者会連合会副会長 屋敷 智宏（神田保育園）

役員の皆さん、お疲れ様でした。この一年長かったようであつという間でした。自分に「今年は保護者会連合会の役員です」と言われた時、いったい何をやるんだろうとわからずにいました。役員会では、親子事業のことやアンケート実施、地域医療を考えるセミナーなどいろいろ話し合い、活動をしてきました。まだ保護者会連合会の活動を知らない人は多いと思いますが、子育て環境の改善、保育料の見直しなどたくさんの課題に努力されています。

この会を通じていろんな人に出会い、助けられ、いい経験をさせてもらいました。本当に一年間ありがとうございました。

副会長 1 年間の感想

保護者会連合会副会長 青木 財久（わかかさ保育園）

研究会保護者会連合会副会長の任命を受けた時「まあ、名前だけの役員だろう」と思って快くうけました。

今まで、何をやるための連合会なのか中身がわからないため認識が無く難しく考えていませんでした。しかし、今考えてみると本当に必要なことだとわかりました。

みんな一人ひとりが、益田市全域に意味あることを考え、話し合い、意見を交換し、何が必要か、何がみんなにどう伝わるのか、益田の現状がどれだけ深刻かを話し、その打開策をみんなで意見を出し合い、意味のある活動をしたと思います。

そして園児さんたちの親御さん達にアンケートをいただき、その意見を保護者会連合会、みんなで話し合っただけで益田市市長、市議会にみんなの意見をまとめ、願書を提出し、「よりよい子育て」、「仕事」、「安心して産める産科」、「環境設備」、この1年間、この課題に自分でも微力ながらも意見を出し、今までにない自分の姿を見たと思います。

今年で僕の三男坊が保育園を卒園します。うれしい反面、不安もあります。少子化によって入園する子どもが少ないという現状、先ほどの4つの課題、一つだけがよくなっても、うまくサイクルできません。

保育園、小学校、中学校、すべてに関わる課題だと思います。これからも父親として、益田市民として、皆さんと力を合わせて協力していきたいと思っています。

鈴木翼&ロケットクレヨンファミリーコンサート

こんにちは、保護者会連合会副会長の青木です。この度、新年早々に益田市グラントワにて「鈴木翼&ロケットクレヨンファミリーコンサート」を開演しての感想を書くことにあたり、あの時の色々な楽しく感動したことを書こうと思います。

このファミリーコンサートの開催まで研究会、保護者会連合会、各保育園の保護者会長と長いようで短いような期間で、色々な意見や発案を話し合っただけで「鈴木翼&ロケットクレヨンファミリーコンサート」にたどり着きました。そして、各保護者会長、研究会、保護者会連合会、各保育園の方々のコンサート役割が決まり、12月末の準備に入りました。そしてコンサート開催前日に鈴木翼&ロケットクレヨンさんが神奈川、鳥取から益田に入り、疲れを感じさせないほど、さわやかで元気よくその日の夜からリハーサルを遂行し、そのリハーサルを見せてもらったスタッフのみんなも次の日のコンサートがすごく楽しいものになると思いました。

当日、早朝に集合し、各役割班で集まり、話し合い、最後に平川会長の挨拶&コンサートが成功するようにがんばろうコールでスタッフ全員が気持ちを引き締め、盛り上げてスタートしました。

開場、開演になり、受付スタッフの対応がスムーズで各保育園の園児、保護者が会場に入り、スタッフのキビキビした案内で問題なく各席に着席出来ました。子どもたちはお行儀よく、礼儀正しいことに感心し、先生方、保護者の方々に感謝する気持ちでいっぱいでした。

最初に保護者会連合会、平川会長、来賓の益田市市長福原氏の楽しく和むような挨拶で会場の緊張した雰囲気がなくなり、園児たち保護者、スタッフ全体が一体化になったように思えました。そしてコンサートが開演し、鈴木翼&ロケットクレヨン、最初からのハイテンションに園児たち、親御さん達、笑顔、一緒になって遊び、歌い、裏方から見ていた僕も楽しく笑ってました。ステージに立っている人が主役でなく、みんなが主役でありこの一体感のある遊び、歌い、心が震えるみんなのかけ声、楽しいコンサートを開催した鈴木翼&ロケットクレヨンのお二人に感謝の気持ちでいっぱいです。（毎年あればいいなと思います）

子どもたちの間に壁がなく、みんな一緒に楽しく遊べる時間が大切だと思いました。これからも心から笑い、心に残る場をつくり、子どもたちだけでなく大人たちも区切りをせずに、集まった時は楽しく話し合い、益田市しかできない良い環境が出来るように協力していきたいと思いません。

保護者会連合会 理事 海老谷 裕（中須保育所）

初めてのことで、何をすればいいのかわからないので本当に何も出来ず、ご迷惑をおかけしました。出席もなかなか出来ずでしたが、コンサートは子どもも喜び、とても良かったと思います。来年度も是非やって欲しいですね。

1 年間を振り返って

保護者会連合会 理事 澄川浩司（真砂保育園）

初めて保護者会連合会の活動に参加させて頂き、思った以上に役員会もあって鈴木翼&ロケットクレヨンファミリーコンサートの計画もしっかりと出来たと思います。

僕が保護者会連合会の役員という大役を出来るのが不安でしたが、平川会長をはじめ、多くの方々と一緒になって計画が出来たのでよかったです。また、この活動を通じて他の保育園の保護者さんとも接することができ、子育てについて、いろいろな意見交換もできて自分自身も成長することができたと思います。

1 年間本当にありがとうございました。

益田市保育園保護者会連合会 監事 鹿野浩一（明星保育園）

このたび明星保育園から連合会の監事として出向させて頂きました。2 度目の出向になりますが、本年度はなかなか時間の調整ができず、役員の皆様にも多くの迷惑をお掛けしました事を深くお詫び申し上げます。

今年の大きな事業として、1 月 8 日に「鈴木翼とロケットくれよん」の親子ふれあい事業を実施しました。企画運営を保育研究会の方々と連携し実施しましたが、当日は大盛況で子供たちも大変喜んでくれ、有意義な事業であったと感じております。

また、毎年行っておりますアンケートの集計と市長への要望書の提出を行いました。財政的に厳しい状況ではありますが、子育て支援等の為の費用に重点を置き、最大限の努力をして頂いている事が分かりました。子どもを預ける親として行政から支援を受けている事が当たり前ではなく、感謝をし

なければならぬという事も再認識する事ができました。

地味な活動かもしれませんが、この会では子どもたちを思う保護者が集まり、真剣に子どもたちの成長を願い活動を行っています。

是非多くの保護者の方がこの会を体験し、また新しいアイデアを出して頂き、皆で益田の保育について考えて行動していく事が重要ではないかと思えます。

一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。



「地域医療を考える」市民公開セミナー参加して

益田市保育研究会保護者会 監事 山根利昭（都茂保育所）

益田市の地域医療の問題に関して、私は単に医療を利用する立場で話を聞きに行きました。

しかし、実態はとても深刻な状況で、もはや益田市のみならず浜田市や県東部の支援なしでは現状維持すらままならないという県全体の産科医不足の現状の問題に加えて、産婦人科医を希望する若い医師がいない、島根県で働きたいという医師が少ないというこれから先の未来の問題もありました。

また、一方で益田市としての取り組み、市民の会などによる様々な活動がある事を知りました。その取り組みの中で、かかりつけ医を持つこと、救急外来を利用するのではなく休日応急診療を利用すること等が、医師の負担減になります。そして、この事が地域医療を守っていくのに必要な事「医師として益田市で働きたいと思わせるような街づくり」に繋がっていくことを知りました。

私達にも意識を持つ事でこれからの取り組みを活用する事が出来、これからの益田市の医療を支えていくため協力できることがあるのです。現在、産科の検診では、待ち時間がかかったり近隣での出産になったり、家族や社会の協力なしでは子どもが産めない状況です。益田市民の皆さんが、それぞれ出来る事の意識を持ち、地域全体で協力し合っていく事が益田市の医療現場を支え、より良い医療体制を作っていけるのだとおもいました。



## 一年間の活動を振り返って

保護者会連合会 理事 俵 宗士（常盤乳児園）

昨年4月、妻から“保護者会役員の話があり、保護者会長をやって欲しいということだけど・・・”と相談された。

仕事の都合で、乳児園への送り迎え、園行事などのほとんどを妻がやってくれている状況であり、とても無理だと思ったが、長男も常盤乳児園でお世話になり、次男卒園の年を迎えるにあたり、“頑張ってみようか”という思いで承諾することにした。

さあ、ここからが大変。今年度保護者会長になると、もれなく保育研究会保護者会連合会の理事が付いてくるというのだ・・・。

そして5月。保護者会連合会総会に出席。状況から、正直、これから一年間どうなることかと思ったものだが、子供の成長と同じように振り返ってみるとあっという間に過ぎたような気がする。

初めは、恥ずかしい話だが保育研究会保護者会連合会の存在すら知らなかった。しかし一年経った今、子供達、そして我々保護者のために、なくてはならない組織だということに気付いた。

今年度行った市民公開セミナー「産科医療の現状を知る」、益田市長への要望書提出、親子対象事業（鈴木翼&ロケットくれよんファミリーコンサート）などの活動の中で、保育研究会の先生方、連合会の役員の方々との交流・意見交換により、幅広い知識、物事の考え方などいろんな事を学ぶことができた。

先生方との交流により、“本当に親身になって子供達の事を考えてくれているんだなあ”という思いと、“保護者とのつながりを大切にしてくれているんだなあ”という思いを自然と感じた。

安心して子供を預けることができ、安心して働くことができるのは、先生方のおかげである。我々保護者は、先生方へ感謝しているだろうか？

乳児園に関する事を妻に任せきりにしていた私自身も正直感謝の気持ちを忘れていたように思う。日々、先生方への感謝の気持ちを忘れないよう心掛けたいと改めて感じた。こういう気持ちになれたのも、この一年の活動があったからこそである。

連合会役員として活動したこの一年は、私自身にとって本当に良い経験となった。活動を通じて得たものを今後の生活の中に活かしていけたらと思っている。

間もなく役員交代になります。これから役員になる皆さんも保護者の代表として、子供達のために、先生方と一緒に活動が続けていってほしいと思っています。

一年間ありがとうございました。



## 平成23年度 保護者会連合会役員

会長：平川 英美（遠田保育園）

副会長：屋敷 智宏（神田保育園） 青木 財久（わかくさ保育園）

理事：海老谷 裕（中須保育園） 澄川 浩司（真砂保育園） 俵 宗士（常盤乳児園）

監事：鹿野 浩一（明星保育園） 山根 利昭（都茂保育所）